

インフルエンザ予防接種(満13歳以上～高校生に相当する年齢)予診票

注意事項

(中学生までは保護者同伴、高校生は事前に保護者のサインが必要です)

- 1.この予診票は予防接種を受けるときに非常に大切なものですから、必ず下記の項目について、もれなく正しく記入してください
- 2.記入はペン又はボールペンで、下記の票のあてはまるところに記入するか、○で囲んでください。
- 3.間違った記入のため事故が起こることもありますから、わからないことは医師に聞いて正しく書いてください。

		診察前の体温		度 分	
住所	岡山市 区	電話番号		— —	
受ける人の氏名		男	生年月日	S・H・R	年 月 日生
保護者の氏名		女		(満 歳 か月)	

質問事項	回答欄		医師記入欄
今日のインフルエンザの予防接種は、今年、何回目ですか	1回目	2回目	
今日体に具合の悪いところがありますか 具合の悪い症状を書いてください ()	はい	いいえ	
最近1か月以内に病気にかかりましたか 病名()	はい	いいえ	
1か月以内に家族や友人に麻疹、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか 病名()	はい	いいえ	
1か月以内に予防接種を受けましたか 予防接種名()	はい	いいえ	
今までに特別な病気(先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症、その他の病気)にかかり医師に診察を受けていますか 病名()	はい	いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいといわれましたか	はい	いいえ	
ひきつけ(けいれん)をおこしたことがありますか(歳頃)	はい	いいえ	
そのときに熱がでましたか	はい	いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい	いいえ	
ニワトリの肉や卵などにアレルギーがありますか	はい	いいえ	
先天性免疫不全、後天性免疫不全と診断されたことがありますか	はい	いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことがありますか 予防接種の名前()	はい	いいえ	
家族に予防接種を受けて具合が悪くなった人はいますか	はい	いいえ	
6か月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの接種を受けましたか	はい	いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか	はい	いいえ	
医師記入欄 以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は(実施できる ・ 見合わせたほうがよい)と判断します。 被接種者に対して、予防接種の効果、副反応について、説明をしました。 医師署名又は記名押印			

この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。 医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的・重篤な副反応の可能性などについて理解した上で、 接種することに(同意します ・ 同意しません) また、この予防接種は、保護者の希望により接種するもので、予防接種法に定められているものではありません。 保護者自署
--

使用ワクチン名・Lot No	接種量	実施場所・医師名	
	ml	実施場所	岡山市中区赤坂本町8番10号 岡山協立病院
		医師名	
		接種年月日	令和 年 月 日



インフルエンザワクチン説明書



☆インフルエンザとは・・・

- ・インフルエンザウイルスによって起こる呼吸器の感染症で、主に冬に大流行します。
- ・普通のかぜとは違い、気管支炎、仮性ク룹（声を出す喉頭が炎症を起こして腫れる病気）、肺炎などの呼吸器の病気や脳症・脳炎を起こして、重症化しやすい病気です。
- ・日本の子供は脳炎や脳症を起こしやすく、毎年重症になる患者が数百人も出ています。
- ・子供では、特に10代は高い所から飛び降りるなどの異常行動がみられるので、子供のそばについてみましょう。これはインフルエンザの薬が原因ではありません。
- ・伝染力が強く、熱が下がってもその後数日間は他の人にうつす可能性が高いので、家での安静が必要です。保育園や幼稚園は発症から5日経過していて熱が下がって3日経てば登園でき、学校は発症から5日経過していて熱が下がって2日経てば登校できます。
- ・原因となるウイルスは数種類に及び、これらのウイルスの形や性質が年々少しずつ変わるため、感染の予防が難しい病気です。手洗いなどでは感染予防が不十分なのでワクチンによる予防が必要です。



☆症状・経過は？

- ・約1～4日の潜伏期ののち、まずは高熱が出て、だるさ、のどの痛み、頭痛などの症状が出ます。
- ・年齢によっては、頭痛や腹痛などの症状が出ることもあります。
- ・異常行動や脳炎・脳症は、熱が出てから約2日の間に起こりやすくなります。いろいろな治療法を行っても、死亡するケースや脳障害の後遺症が残ることがあります。

☆合併症は？

- ・日本の子供の脳炎の最大の原因で、毎年200～500人が脳炎になっています。
- ・咳がひどかったり、発熱が長く続いたりした場合は、肺炎の可能性もあります。



☆ワクチンの効果と副作用（副反応）は？

- ・ワクチン接種によってある程度発病が予防できます。2011年シーズンから接種量が3歳未満で0.25mlの2回接種、3歳から13歳未満で0.5mlの2回接種と増えたため予防効果が期待されています。
- ・卵を食べてたいへん重い症状の出る子供は主治医やアレルギーの専門医と相談をしてください。

☆予防接種の受け方と時期は？

- ・インフルエンザワクチンは任意接種です。
- ・13歳未満の子供は、2～4週間隔で2回受けます。
- ・小さい子供の場合は、重症化の予防に必要なだけの十分な免疫（抗体）ができるのは、2回目を接種した後2週間頃からです。1回目は10～11月、2回目は11月中に接種するのがおすすめです。
- ・出産前に母親が受けると生まれた赤ちゃんにも予防効果があります。



岡山協立病院 小児科

予約、ご不明な点は、

こちらまでご連絡ください。

086-271-7830(直通)

086-272-2121(代表)